

5 積雪についての技術対策

畜種共通

【事前対策】

- ・最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしましょう。
- ・積雪に伴う物流の遅延などに備え、予め飼料、燃料、家畜の飲水などを十分確保しましょう。
- ・各地域において、あらかじめ行政機関や生産者団体等との連携体制や、停電や断水等の対応について確認し、被災時には早急に対応できるよう努めましょう。
- ・幼畜の保温のための機器は、ガスホース、配線及び吊り下げ金具を含め、使用前に異常の有無を点検する等により、畜舎の火災の発生防止に努めましょう。

【積雪中対策】

- ・特に幼畜・幼雛について、消化器病や呼吸器病の予防のため、適切な防風・保温に努めるとともに、適切な換気にも配慮しましょう。
- ・畜舎内やパドックが凍結した場合は、砂や融雪促進剤等の散布を行い、転倒等の予防に努めましょう。

【事後対策】

- ・積雪による畜舎や家畜の事故防止を図るため、安全には十分に配慮した上で、早めの雪下ろし及び畜舎周辺の除雪に努めましょう。
- ・特に野生イノシシに CSF（豚熱）の発生が認められる地域においては、積雪による防護柵の破損や、野生イノシシの柵の乗越えに注意しましょう。